

キャラクター名 セッサイ・フォル・フェルナンド
 プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	参謀	性別	男	年齢	45
冒険者Lv	13	経歴	飛空艇に乗ったことがある		
経験点	910		命を救われたことがある 苦手な動物がいる(いた)		

技	6	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	5	7		18	3		ソーサラー	3	アルケミスト
体	5	敏捷度	6	5		17	2	コンジャラー	3	ウォーリーダー	6
		筋力	8	6		19	3	プリースト/始祖神ライフス	13		
心	10	生命力	10	12		27	4	フェアリーティマー	2		
		知力	9	22		41 + 2	7	セージ	9		
		精神力	8	14		32	5	エンハンサー	5		

戦闘特技		能力値	備考
ルーンマスター	IB34 p		p
鋭い目	2120 p		p
弱点看破	2121 p		p
マナセーブ	2123 p		p
魔法拡大/数	IB39 p		p
魔法誘導	IB32 p		p
MP軽減/プリースト	IB33 p		p
鷹の目	IB30 p		p
魔晶石の達人	IB32 p		p
ダブルキャスト	IB37 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
巨人語	○	
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
ドレイク語	○	
ドワーフ語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
アンチボディ	
メディテーション	
ビートルスキン	
ストロングブラッド	
スフィンクスノリッジ	
パラライズミスト	
バークメール	
軍師の知略	
怒涛の攻陣Ⅱ：烈火	
鉄壁の防陣Ⅱ：堅体	
強靱なる丈陣Ⅱ：精定	
鉄壁の防陣Ⅲ：甲盾	
鉄壁の防陣Ⅳ：無敵	
怒涛の攻陣Ⅲ：轟炎	

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要ランク					
鎧	マナコートプラス	筋力	1	回避力	0	防護点	7
盾							
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							
回避技能						合計値	0 7

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13										
ショートスピア 戦旗槍：攻撃系	1H投	10	-2	2d+ -2	10	0	15										
ショートスピア 戦旗槍：防御系	1H投	10	-2	2d+ -2	10	0	15										
ショートスピア 戦旗槍：抵抗系	1H投	10	-2	2d+ -2	10	0	15										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	17 m	51 m

回避	防護点
2d+ 0	7

HP
63

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	3	10			
操霊魔法	3	10			
深智魔法	3	10			
神聖魔法	13	20			
妖精魔法	2	9			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 18	2d+ 13

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 18

MP
97

装備品	説明
頭 差配の宝冠	
耳 ディスプレイサ-ガジェット	とんがり帽子(アイテム欄にて)
顔 ひらめき眼鏡	見識+1
首 血水晶のチョーカー	
背中 インテリアニマルサック	探索・魔物知識・危機感知・畏感知+1
右手 栄冠の軍師手章	
腰 アルケミーキット	
足 ライフォスの聖印	
その他 叡智の腕輪	

装備品	説明
左手 叡智の腕輪	

その他メモ	自動失敗チェック
フェルナンド家に連なる一族で、フェンディル王国出身。 幼いころからライフス神殿に修行に出され神官として働き、神の声をきき、頭角を現す。 フェンディルのライフス神殿がかなり墮落していたため、修行の旅に出る。 後にフェルナンド家のつてを頼りにルクスラ帝国の従軍神官として仕官、 飛空艇師団にも所属するなど長期間働いたのちに退職し、赤い輝石亭にたどり着く。	□□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕
ライフス神殿が墮落していたため、男性経験も女性経験も多数ある。 今の本人は理知的、ひょうひょうとした態度、禪問答を好む枯れた感じで、若人を見守る。 またライフス神官としては「改革派」に属し、「調和」を理解するのならば(人族側の)蛮族と協力する事に躊躇は無い。 一方、狭小な保守派ライフス神官に対しては懐疑的である。 イシュメル・チャーチは先達にして尊敬できる友人。	□□□□⑤

